

平成27年度第2回契約監視委員会でのご指摘等への対応状況

	第2回委員会でのご指摘等	対応状況
1	<p>・ 役務の調達(旅行手配業務一式)で、落札率が極めて低い契約があるので、今後は予定価格が適切であったか等を検討し必要な見直しを行うこと。 (佐藤監事)</p>	<p>・ 予定価格に対して落札額に大きな開きがある契約については、その原因を究明し、適正な予定価格とするよう見直しを図っていききたい。特に当該旅行手配業務については、予定価格の見直しと併せて、業務内容そのものについても見直しが必要ではないかと考えており、引き続き検討を行っていききたい。</p>
2	<p>・ 複数のインターネット関連役務契約が一者応札となっており、IT業界の人手不足という事情はあるにしても、特殊な業務でないものについては、競争原理が働くよう引き続き入札参加者を増やす努力をすること。(早川委員)</p>	<p>・ 既存システムへの追加、改良等については、既存システム関連業者が有利とならざるを得ない状況があるが、特殊な業務でないものについては、応札業者の発掘、公告期間の十分な確保、応札しやすい仕様の工夫等の努力を引き続き行っていききたい。</p>